

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 3月

福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科 丹野大樹

研究課題名

福島県におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) の遺伝子型解析および毒素産生性の調査

研究期間

2024年3月 ~ 2030年3月

研究の目的・意義

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus; MRSA) は、院内感染対策上最も重要な耐性菌です。従来より院内感染型 MRSA (hospital-acquired MRSA; HA-MRSA) が注目をされていましたが、近年、地域で感染・流行する市中感染型 MRSA (community-acquired MRSA; CA-MRSA) による感染症が世界的に注目されています。福島県内では、流行する MRSA についての遺伝子解析に関する報告はなく、その流行の詳細については把握できていません。本研究は、MRSA の遺伝子解析から、県内における MRSA の遺伝子型の分布状況および毒素産生性を把握することを目的としています。福島県内で流行する MRSA について、過去 10 年間の遺伝子型および毒素産生性の変遷を把握することで、福島県の疫学および予防医学に寄与することが期待されます。

研究対象となる方

2013年4月から2023年3月までの10年間に検査部に提出された微生物検査検体の中で、新規に MRSA が検出された症例を対象とします。

研究の方法

本研究では、福島県立医科大学附属病院において、2013年4月から2023年3月までの10年間に新規 MRSA が検出され、POT 法解析が行われた臨床分離株を対象とします。対象症

例の年齢、性別、出身地、紹介元施設などの情報を使用するとともに、毒素産生性の評価のため臨床分離株から遺伝子解析を行います。本研究に供する試料、データを収集する上で、被験者に対する新たな侵襲や追加の検体採取をもたらすことはありません。研究に関わる試薬・備品等は、研究責任者の研究費から支出するため、研究対象者への経済的負担になることは一切発生いたしません。

試料・情報の利用を開始する予定日

2024年4月1日

研究組織

この研究は下記の研究責任者および研究分担者により行われます。

研究責任者	保健科学部臨床検査学科	丹野大樹
研究分担者	保健科学部臨床検査学科	豊川真弘
研究分担者	医学部感染制御学講座	金光敬二
研究分担者	医学部感染制御学講座	仲村 究
研究分担者	医学部感染制御学講座	原 靖果
研究分担者	医学部臨床検査医学講座	志村浩己
研究分担者	医学部臨床検査医学講座	斎藤恭一
研究分担者	附属病院検査部	山寺幸雄
研究分担者	附属病院検査部	大橋一孝
研究分担者	附属病院検査部	高野由喜子
研究分担者	附属病院検査部	岡崎恵美
研究分担者	附属病院検査部	今井美菜子
研究分担者	附属病院検査部	坂本有子
研究分担者	附属病院検査部	庄司龍弥
研究分担者	附属病院検査部	松岡莉衣

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科で利用し解析を行います。

他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関へは提供しません。

この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研

対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号

公立大学法人福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科 担当 丹野大樹

電話: 024-581-5503 FAX: 024-581-5528

E-mail: dtanno@fmu.ac.jp